

北海道支部 2019 年度支部見学会の報告

日時 2019年6月21日(金) 13:00~14:40

見学先 北海道地図株式会社 本社 (旭川市台場1条2丁目1番6号)

今回見学させていただいた北海道地図株式会社様は1953年に旭川で創業しました。閑静で緑に囲まれた環境の中に印象的な本社社屋が佇んでいます。

同社は創業以来一貫して地図づくりに関わってきました。学校で使われる教科書や地図帳、さらにはタウンページ(業種別電話帳)、防災タウンページなどに掲載されている全国の地図データを多く手掛けており、我々は知らず知らずのうちに同社の地図になじみがあるといえそうです。

同社は地図のデジタル化にいち早く取り組んだことでも知られています。コンシューマ製品としては世界初となったGPSカーナビゲーション(パイオニアAVIC-1)の開発では、デジタル地図の作成を行ったことで、一躍脚光を浴びることとなりました。

見学当日は、小林社長も同席され会社の紹介を行っていただきました。専用のカメラで実空間を3Dスキャンすることによって作成されたVRコンテンツのデモが披露されました。デモではモデリングされた旧永山武四郎邸(札幌市)が映し出されました。建物内部が非常にリアルに再現されていることに驚きました。日本三大鍾乳洞の一つである秋芳洞(山口県)のデモでは、有名な百枚皿の光景が臨場感にあふれ見応えがありました。

ロビーには同社が開発した地形の立体模型上に映像を投影するジオシミュレータが展示され、噴火による泥流がふもとに広がる様子アニメーションが映し出されていました。地形の鳥瞰図をポスターに表現したGEO ARTやVistaMapも展示されていました。地図をアートの領域にまで昇華させた作品と言えるかもしれません。

同社は地質や地形をテーマとするジオパークにも力を入れており、関連するさまざまな活動を行っているとのこと。自社製作した多くのジオパーク関連グッズを集めた展示室もありました。中学生などへの授業も積極的に行っているそうです。

GEO ARTの編集作業や地図の印刷作業についても見学をさせていただきました。

同社は自社内でさまざまな技術に対応できることが強みといえそうです。これまで北海道の地で、地図に関わる数々の革新的な商品を手掛けてきました。これからも世間をワクワクさせるような商品を世に送り出してくれそうな印象を受けました。

